



「ベートーヴェン第九コンサート」

2022年11月27日(日) 13:00開演(12:30開場)

場所: 那須町文化センター大ホール

曲目: ベートーヴェン交響曲 第9番合唱付き

入場料:

2,000円(当日券) 税込み

1,500円(前売り券) 税込み
(小学生以下無料)

出演: 弦楽亭室内オーケストラ
那須クラシック音楽祭合唱団
指揮 柴田真郁

ソリスト 高橋美咲(ソプラノ)、藤井麻美(メゾソプラノ)
荻原孝弥(テノール)、伊良波良真(バス)



柴田真郁



高橋美咲



藤井麻美



荻原孝弥



伊良波良真

那須クラシック音楽祭合唱団

那須で第九を歌うために、多くの方々に参加、練習と研鑽を積んできました。弦楽亭室内オーケストラと組んで、念願の第九を歌います。

弦楽亭室内オーケストラ

地域に根ざした音楽文化の活性化を目的に、那須町内にある音楽ホール弦楽亭に集まるプロ・アマ混成の高い演奏技術を持つ精鋭音楽集団。常任指揮者柴田真郁氏のもと、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などのメンバーが集結、第九をパッション豊かに奏でます。



コンサートチケット購入場所:

那須町文化センター事務室(9:00-17:00 平日のみ)

道の駅 那須高原友愛の森 0287-78-0233

Cafe & Gallery Buzz 0287-78-2000

那須クラシック音楽祭Webページから <http://ncmf.site>



お問い合わせ:

那須クラシック音楽祭実行委員会 0287-76-7268

主催: 那須クラシック音楽祭実行委員会

柴田真郁(指揮)

1978年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。2003年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。修了演奏会でヴィディン・シンフォニーオーケストラ(ブルガリア)を指揮した。同年末には、ハノーファー・ジルベスター・コンサート(ドイツ)に客演し、ブラハ室内管弦楽団を指揮。翌年末のベルリン室内管弦楽団にも客演、2年連続でジルベスター・コンサートを指揮して大成功を収める。

2005年、リセウ大歌劇場(スペイン・バルセロナ)のアシスタント指揮者オーディションに合格し、セバステリアン・ヴァイグレ、アントーニ・ロス＝マルバ、レナート・バルンボ、ジョセップ・ヴィセント氏等のアシスタントとして、様々な演出家や歌手と携わり上演で大きな信頼を得た経験は、オペラ指揮者としての礎となっている。

帰国後は主にオペラ指揮者として活動し、2010年、池辺晋一郎「死神」で日本オペラ協会にデビュー。同年、五島記念文化財団オペラ新人賞を受賞して研修生として再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。

最近では18年にマスネ「ナヴァラの娘」(日本初演)、19年にブッチェーニ「ラ・ボエーム」、20年にはヴェルディ「リゴレット」、21年にはベリーニ「清教徒」をそれぞれ藤原歌劇団と共演。20年11月には日生劇場にて「ルチア～あるいはある花嫁の悲劇～」も指揮し、好評を博す。堺シテオペラ、新国立劇場オペラ研修所等でも指揮。しなやかでありながらドラマティックな音楽作りには定評がある。

近年では管弦楽にも力を入れており、読響、東響、東京フィル、日本フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、日本センチュリー響、大響、群響、広響、兵庫芸術文化センター管等を指揮。

指揮を十束尚宏、星出豊、ティロ・レーマン、サルバドール・マス・コンデの各氏に師事。平成22年度(2010年)五島記念文化財団オペラ新人賞(指揮)受賞。2022年4月、大阪交響楽団ミュージックパートナーに就任。



高橋美咲(ソプラノ)

東京藝術大学卒業。同大学音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。修了時に、日本学生支援機構「特に優れた業績による返還免除の認定(全額)」を受ける。ローマで開催された「ヴァチカン国際音楽祭2018」で、ヴェルディ「レクイエム」、グノー「聖チェチーリア荘厳ミサ曲」のソプラノソリストに抜擢され、海外デビューを果たす。またその演奏の様子が世界約35ヵ国に中継された。翌年には西本智実指揮「カルミナ・ブラーナ」で、元新体操団体日本代表の畠山愛理(振付 安藤美姫)と共演。その他コンサートソリストとして、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「戴冠式ミサ曲」(レクイエム)、ハイドン「ネルソソミサ」、フォーレ「レクイエム」、マーラー「千人の交響曲」、他で多数の公演に出演している。オペラでは、第63回整大オペラ定期公演モーツァルト歌劇「フィガロの結婚」スザンナ役でデビュー後、「フィガロの結婚」伯爵夫人役、ドニゼッティ「ドン・パスクワレ」ノリーナ役、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役などを務める。第18回北陸新人登竜門コンサートオーディションに合格し、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演。第37回クラシック音楽オーディション合格。第1回パーゼル国際声楽コンクール、大府商工会議所会頭賞受賞。イルミナートアーティスト。



藤井麻美(メソソプラノ)

洗足学園音楽大学及び同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外派遣制度研修員として渡伊。B.Franci国際オペラコンクールにて「Il premio di Trequanda」を受賞。Carbonetti劇場国際オペラコンクールでは、「Vincitore di Suzuki」を受賞し副賞としてロンバルディア州はじめイタリア国内の劇場にて「蝶々夫人」スズキ役として出演。

東京二期会には宮本亞門演出「蝶々夫人」スズキ役でデビューし、「フィガロの結婚」マルチェリーナ役等でも出演。日生劇場には「魔笛」「ヘンゼルとグレーテル」「ルチア～あるいはある花嫁の悲劇～」に出演した。

ヘンデル「メサイア」、ヴィヴァルディ「グローリア」等でもアルトソリストを務め、ベートーヴェン「第九」のアルトソリストとしては「セイジオザワ松本フェスティバル」や「飛騨高山千人第九」等数多く出演。二期会会員。洗足学園音楽大学講師。



荏原孝弥(テノール)

北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コースを卒業。東京藝術大学大学院声楽専攻を修了。イタリア、オジモ市オペラアカデミー(Accademia d'artelirica Osimo)を修了、ディプロマを取得。新国立劇場オペラ研修所代19期生修了。

これまでに「コジ・ファン・トゥッテ」、「ドン・ジョヴァンニ」、「ラ・チェネレントラ」、「ロメオとジュリエット」などのオペラに出演、コンサートでは「第九」、「メサイア」、「小荘厳ミサ」、「ミサクリオージャ」などのソリストを歌っている。

これまでに声楽を嶺井恵子、翁長剛の各氏に師事。



伊良波良真(バス)

沖縄県那覇市出身

沖縄県立芸術大学声楽専攻卒業、同大学の卒業演奏会に出演。第6回東京国際声楽コンクール新進声楽家部門1位、東京新聞賞受賞。第23回日本クラシック音楽コンクール声楽部門一般男子の部2位(1位なし)

新国立劇場オペラ研修所第19期修了。ANAスカラシップを受け、ドイツ・バイエルン州立歌劇場で短期研修を受ける。

オペラでは「フィガロの結婚」フィガロ、「ジャンニ・スキッキ」ジャンニ・スキッキ、「イル・カンピエッロ」アンノレート、「ドン・ジョヴァンニ」レポレロ等の役で出演。「第九」、「メサイア」にソリストとして出演。

これまでに声楽を嶺井恵子、翁長剛の各氏に師事。



矢野晴子(コンサートミストレス)

東京藝術大学卒業。全日本学生音楽コンクール第1位。桃花楽堂にて御前演奏。アイザック・スターン、ヘルマン・クレッパース、ルジェロ・リッチ、メナハム・プレスラー各氏のマスタークラスに参加。海野義雄、原田幸一郎各氏に師事。ベルリンにてイラン・グロニッチ氏に師事。ヨーロッパ各地でコンサートを開催し好評を博す。ソロ、室内楽、様々なジャンルの音楽家達との共演、映画音楽・商業音楽等のレコーディング、弦楽四重奏を中心としたオリジナル曲の制作、または編曲等幅広い活動を行っている。那須にある音楽ホール「弦楽亭」のオーナーの一人でもありそこのコンサートを定期的で開催したり、音楽家の派遣、若手演奏家の育成等にも関わっている。現在、東京、那須を拠点に活躍中。

